

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道210号 横瀬拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：大分県大分市大字横瀬 至：大分県大分市大字横瀬	延長	1.5km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道210号は、大分市と由布市、日田市などの周辺都市を連絡する幹線道路である。このうち、横瀬拡幅は大分市の郊外に位置し、4車線区間から2車線区間に車線が減少する延長約1.5kmの4車線拡幅事業である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当該事業の整備により、円滑な物流を阻害している交通渋滞が解消され、企業活動の活性化を支援するとともに、大分自動車道通行止め時の代替機能強化により、湯布院～大分市間を含む回遊型観光の発展を支援。</p> <p>全体事業費：約4.6億円      計画交通量：約23,600台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

【大分県知事】

一般国道210号は、大分市西部や由布市と大分市中心部を結ぶ主要幹線であり、一般国道10号等とともに大分市中心部の基幹的ネットワークを形成し、通勤通学や物流、観光面で大変重要な路線です。しかし、横瀬地区は2車線であるため慢性的な渋滞が発生しており、大分自動車道が霧等で通行止めの際には迂回路となり、さらに激しい渋滞が生じています。

大分市の渋滞対策としては、放射状の道路の機能強化と中心部の通過交通の排除が必要だと考えており、国と県・市が一体となって放射・環状の道路網を構築していくとともに、自転車や公共交通を活かす施策を推進していくことが重要と認識しています。

一般国道210号横瀬拡幅は、こうした渋滞対策の一環として早期整備を強く望んでいるところであり、平成28年度事業着手に向け特段のご配慮をお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

・費用対便益：便益が費用を上回っている  
・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H16.2）

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	2.0	総費用：3.5億円 （事業費：3.2億円 維持管理費：0.3億円）	総便益：7.0億円 （走行時間短縮便益：6.6億円 走行経費減少便益：3.0億円 交通事故減少便益：1.5億円）	基準年：平成27年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.8	（交通量 -10%）	B/C=2.2	（交通量 +10%）
		事業費変動	B/C=1.8	（事業費変動 +10%）	B/C=2.2	（事業費変動 -10%）
		事業期間変動	B/C=1.8	（事業期間変動+20%）	B/C=2.1	（事業期間変動-20%）
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・渋滞解消により所要時間が短縮 [混雑度] 現況 1.83 → 整備後 0.83 (約5割減少) [平均旅行速度] 現況 18.6km/h → 整備後 50.0km/h		
		事故対策	—	・注目すべき影響はない		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	—	・注目すべき影響はない		
		地域経済	◎	・円滑な物流を阻害している交通渋滞の解消により、企業活動の活性化を支援		
		災害	—	・注目すべき影響はない		
		環境	—	・注目すべき影響はない。		
	地域社会	○	・大分自動車道通行止め時の代替機能を強化し、湯布院～大分市間を含む回遊型観光の発展を支援			
事業実施環境		○	・都市計画決定手続き完了（H16.2） ・大分県知事、大分市長より、「横瀬拡幅の早期事業化」を要望			

採択の理由

費用便益比が2.0と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、4車線拡幅により、渋滞解消による企業活動の活性化の支援、さらに大分自動車道通行止め時の代替機能の強化など、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。